

EUに於ける再生エネルギー 事例報告

2014. 10. 5

原発ゼロ・大阪 3周年集会

EUの再生可能エネルギーへの挑戦

2020年までに再生可能エネルギーを20%に

ドイツ この夏ですでに28%に達した

減少する火力発電 2013年に減少

石炭火力 -582万KW

天然ガス -265万KW

石油 -257万KW 計1100万KW

増加する再生可能エネルギー

風力 +1080万KW

太陽光 + 962万KW

風力発電

デンマーク (2013年12月)

5167基 477万KW

電力消費の33.2%

ドイツ (2010年)

約22000基 27GW

再生可能エネの47%

スペイン (2014年1-5月) (和田資料)

再生可能エネは全発電中の52.7%

風力はそのうち半分

省エネに貢献する地域暖房

地域暖房で消費エネの4割カット
エネルギー源として再生可能エネ

太陽熱

バックアップにバイオガス(コジェネ)

バックアップにLNGなども

更に省エネ住宅で節エネルギー

厚い壁と断熱材 三重ガラス 木枠窓

反原発運動から市民電力販売会社 へ

南ドイツの人口2600人の小さな村シェーナウ
で始まった反原発運動

地域支配の電力会社との対峙のなかでついに
再生可能エネルギーを売る電力会社に

現在は南ドイツ一帯をはじめとして全国展開

主電力源はノルウエーの水力発電より購入
太陽光発電なども普及支援活動

ドイツでは他にもこのような会社が多数出現

EUの挑戦は更に次の展開へ

今後の展開を風力へシフト

とりわけ海上への建設 原発40基分

17兆円の投資

バイオガスプラントの展開

火力発電減少を促進

石炭火力 二酸化炭素排出の減少

天然ガス 当面の繋ぎとして重視

石油 高価 コストが合わない

温暖化防止・CO2 排出減量

日本の現実

原発依存 放射能汚染物質の展望無しに
CO2減少への展望を持たない
「原発は低CO2」の幻影を追う
原発輸出・更に石炭火力輸出を成長戦略に

低炭酸素ガスへの展望無し

理念なき経済成長戦略

日本の今後の展望を市民が作る

EUの再生可能エネルギーの普及は市民が
2億, 3億の出資も市民が集めた

市民の力で大規模エネルギー開発に挑戦も
大型風力設置へも

「持続可能な地球」への戦略に基づいた
再生可能エネルギー普及を市民の手で